

岩手県内遺跡発掘調査報告書

(令和4年度)

令和6年3月

岩手県教育委員会

岩手県内遺跡発掘調査報告書

(令和4年度)

岩手県教育委員会

序

埋蔵文化財は、先人の残した貴重な歴史的財産であり、国民共有の財産です。文化財保護法の理念にもとづき、埋蔵文化財を保護し後世に伝えていくことは、現代に生きる私たちの責務です。

当委員会では、昭和52年から国庫補助金の交付を受けて遺跡の分布調査を実施し、現在、岩手県内には約12,900箇所あまりの遺跡が確認されています。これらの遺跡を広く周知するとともに、開発事業と埋蔵文化財保護の調整を図るために行った試掘調査などについて、その成果を報告書として平成元年度から刊行しています。

本県では、県内遺跡調査事業として、国・県関連の開発事業に係る埋蔵文化財の調査を進めるとともに、県内の埋蔵文化財の調査・研究を推進するために、令和3年3月に当委員会が制定した「岩手県文化財保存活用大綱」に基づいて令和4年度から市町村等と協働して高地性集落遺跡の詳細分布調査に取り組んでいるところです。また、東日本大震災津波からの復興事業に伴う埋蔵文化財調査がほぼ終息したことから、令和5年1月、シンポジウム「東日本大震災津波からの復興の礎 ～埋蔵文化財調査の成果と課題～」を開催し、これまでの調査の成果を総括するとともに、今後の課題に関して議論しました。

本報告書は、令和4年度に実施した県内遺跡調査事業による試掘調査、工事立会、分布調査等の成果をまとめたものです。本書が広く活用され、埋蔵文化財保護の一助になれば幸いに存じます。

調査の実施と報告書の作成にあたり、御指導と御協力をいただきました関係機関ならびに関係者の皆様に、心から感謝申し上げます。

令和6年3月

岩手県教育委員会

教育長 佐藤 一 男

例 言

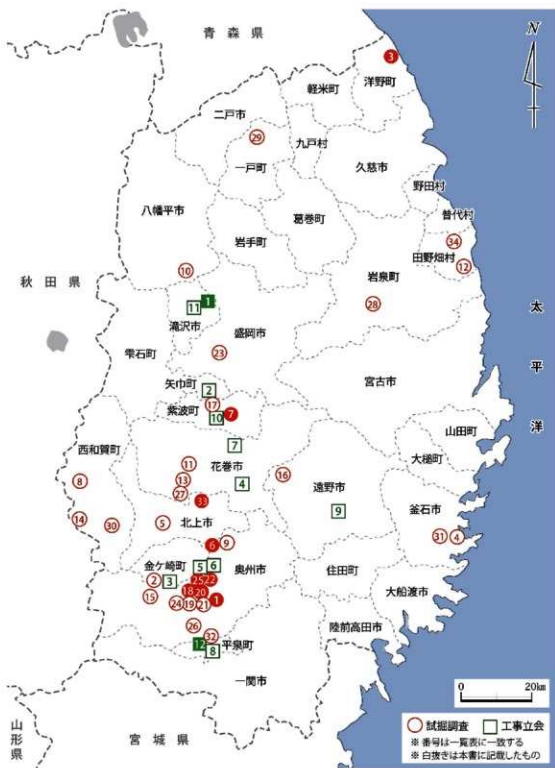
- 1 本書は岩手県教育委員会が令和4年度に実施した県内遺跡調査事業に係る成果報告である。
- 2 本事業は岩手県教育委員会が調査主体となり、(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター(以下、県埋蔵文化財センターと略記)及び関係市町村文化財部局の協力を得て行った。
- 3 遺跡位置図はいわて遺跡地図(国土地理院長の承認を得て、同院発行の25000分の1地形図(承認(使用)R3JHs870.R3JHs952号)を使用した。
- 4 試掘調査及び工事立会の調査位置図の作図は各事業者から提供された工事計画図、及び国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)、数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)及び数値地図(国土基本情報)基盤地図情報(数値標高モデル)を使用した。(承認番号平28情使、第169号)
- 5 遺構名称は必要に応じて略号を付した。
竪穴建物跡：SI、溝跡：SD、陥し穴状遺構：SKT、柱穴：SP
- 6 遺構・遺物実測図の縮尺は以下のとおりで、それぞれにスケールを付した。
遺構：1/100、1/40 遺物：土器・須恵器1/3、石核1/2、剥片石器1/1
- 7 写真図版の縮尺は遺構については任意、遺物については実測図と同寸である。
- 8 令和4年度の調査体制は次のとおりで、文章執筆・図版作成は生涯学習文化財課が行い、編集・校正は千葉正彦、中村孝が担当した。
(埋蔵文化財担当総括) 上席文化財専門員 半澤 武彦
(予算・経理(事業担当兼務)) 文化財専門員 長屋敷 淳史
(事業担当) 上席文化財専門員 鳥居 達人・大沢 勝
文化財専門員 高橋 祐・鎌田 勉 文化財調査員 須川 翼
会計年度任用職員 尾形 文子・米田 奈美・梅村 貴子
- 9 本事業の調査記録及び出土品は、岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課が保管している。

目 次

序 例言

I 試掘調査	1
1 一般国道4号水沢東バイパス（中林下遺跡）	3
3 三陸沿岸道路（待浜～階上）洋野種市IC（サンニヤIV遺跡）	3
6 地域連携道路整備事業主要地方道一関北上線山下地区（境遺跡・山下遺跡）	4
7 農地整備事業（経営体育成型）星山・犬吠森地区（間野村遺跡）	5
18 経営体育成基盤整備事業若柳中部地区（作屋敷遺跡）	6
20 経営体育成基盤整備事業真城西地区（南笹森遺跡隣接地・堤ヶ沢I遺跡・可能性あり5）	7
22 経営体育成基盤整備事業北下幅中地区（高山遺跡・西大畑遺跡及び隣接地・西館遺跡・ 築館・松本館跡及び隣接地）	10
25 経営体育成基盤整備事業北下幅南地区（石田I・II遺跡）	14
33 北上北部産業業務団地造成工事（岡田遺跡）	16
II 工事立会	17
1 一般国道282号一本木バイパス道路改良工事（砂込II遺跡）	17
12 地域づくり緊急改良事業（花立1遺跡）	18
III 分布調査	19
IV 遺跡登録	21

報告書抄録



調査遺跡位置図

I 試掘調査

I 試掘調査

調査件数は市町村支援を含めて34件で、発掘調査対応が12件、工事立会対応が1件、慎重工事が26件、工事着手可が12件であった（遺跡別によるカウントで調査件数と合致しない）。周知の遺跡に加えて、未周知の埋蔵文化財包蔵地の可能性がある場所（「可能性あり」12件）についても事業者の協力を得て試掘調査を行い、新規発見は1件あった。

試掘調査一覧表(1) ※遺跡名は調査時点のもの

No.	調査期日	事業名	事業者	遺跡名	所在地	結果
1	令和4年4月19日	一般国道4号水沢バイパス	国土交通省東北地方整備局 若手河川国道事務所	中林下遺跡(NE36-0047)	奥州市水沢新住字中林下地内	発掘調査
2	令和4年5月9日	磐城第二発電所西側工事	企業局業務課総務部長	かどっし遺跡(NE23-0189)隣接地	奥州市沢町若柳字十ノ地内	工事着手可
3	令和4年5月26日	三陸沿海道路(得沢一線上) 洋野橋1C	国土交通省東北地方整備局 三陸国道事務所	ヤニヤ言遺跡(IP48-2250)隣接地	洋野町若柳町25地内	発掘調査
4	令和4年6月28日 ～6月29日	砂防改善災害対策緊急工事 尾崎白浜の沢(4)地区砂防堰堤築造工事 宇田の沢(4)下流地区砂防堰堤築造工事 佐原の沢(3)下流地区砂防堰堤築造工事	自治広域振興局土木部長	今ヶ崎遺跡(MG33-0281) 成波遺跡(MG33-0306) 佐原遺跡(MG33-1169)	磐石市大字宇田地内	慎重工事
5	令和4年8月3日	秋田自動車道4号線化事業	東北日本高速道路株式会社 東北支社橋工工事事務所	山形山業1遺跡(NR63-0052)	北上市和賀町山口地内	慎重工事
6	令和4年8月4日	地域連携道路整備事業 主要地方道一岡北上線山下地区	福南広域振興局土木部長	横遺跡(ME96-0069)・山下遺跡 (ME96-1123)及び隣接地	奥州市江刺福崎山下地内	発掘調査
7	令和4年8月23日 ～8月24日	農地整備事業(経営体育成型) 星山・大沢地区	盛岡広域振興局農政部長 農村整備室長	野野村遺跡(LE67-2201)及び隣接地	紫波町大沢森地内	発掘調査
8	令和4年8月23日 ～8月25日	かんがい排水事業	福南広域振興局農政部長 北上農村整備センター所長	可能性あり②	和賀郡西和賀町下野地内	工事着手可
9	令和4年8月29日 ～8月30日	総合流域防災事業	福南広域振興局土木部長	三の岡南跡(ME87-1300) 三の岡南跡(ME87-1300)隣接地 三の岡南跡(ME87-6301)隣接地	奥州市江刺福崎宇田地内	慎重工事 工事着手可
10	令和4年9月2日	砂防事業	盛岡広域振興局土木部長 若手土木センター所長	可能性あり	八幡平市宇芝基5地内	工事着手可
11	令和4年10月5日	経営体育成型整備事業	福南広域振興局農政部長 北上農村整備センター所長	山原1遺跡(ME14-230)	花巻市森自地内	慎重工事
12	令和4年10月20日	国道45号大戸地区 バス停整備事業	国土交通省東北地方整備局 三陸国道事務所	浜野泉2遺跡(SEG-G-0016)	下閉伊郡田野畑村大戸地内	慎重工事
13	令和4年10月24日 ～10月25日	経営体育成型整備事業	福南広域振興局農政部長 北上農村整備センター所長	俵林遺跡(ME24-0098) 沼田遺跡(ME24-2102)	花巻市太田地内	慎重工事
14	令和4年10月25日	秋田自動車道付加車線事業	東北日本高速道路株式会社 東北支社橋工工事事務所	橋中留1遺跡(MD67-2297)隣接地	和賀郡西和賀町中留地内	工事着手可
15	令和4年10月27日 ～10月28日	中山間地域総合整備事業	福南広域振興局農政部長 農村整備室長	萩森北遺跡(NE33-0055)	奥州市沢町愛宕地区(奥州市沢町若柳字上萩森地内)	慎重工事
16	令和4年10月31日 ～11月2日 令和4年11月7日 ～11月8日	経営体育成型整備事業 金取地区	福南広域振興局農政部長 遠野農村整備センター所長	金取東遺跡(MF21-1070) 金取南遺跡(MF21-2000) 砂地遺跡(MF20-2270) 留言遺跡(MF21-1073) 留日遺跡(MF21-1052) 留道遺跡(MF21-1032)	遠野市宮守町留道地内	慎重工事
17	令和4年11月2日	一般国道160号停車場中島地区 道路埋込工事 (交通安全施設整備)	盛岡広域振興局土木部長	六加輪遺跡(LE56-1357)	紫波郡紫波町中島地内	慎重工事
18	令和4年11月9日 ～11月15日	経営体育成型整備事業 若柳中部地区	福南広域振興局農政部長 農村整備室長	作原敷遺跡(NE25-0144) 及び隣接地	奥州市沢町若柳地内	発掘調査
19	令和4年11月7日 ～11月15日	経営体育成型整備事業 小山東地区	福南広域振興局農政部長 農村整備室長	小山方八丁遺跡(NE25-1290)及び隣接地 可能性あり3 可能性あり2	奥州市沢町小山地内	慎重工事 慎重工事 工事立会

試掘調査一覧表(2)

No.	調査期日	事業名	事業者	遺跡名	所在地	結果
20	令和4年11月14日 ～11月17日 令和4年11月21日 令和4年11月22日	経営体育成基盤整備事業 真城西地区	昭南広域部西局農政部 農村整備課長	南箕森遺跡(NE26-2189)	熊州市野沢小山字南箕森、堤沢	慎重工事
				南箕森遺跡隣接地	熊州市野沢小山字南箕森地内	発掘調査
				中島遺跡隣接地	熊州市水沢沢西字西大塚地内	工事着手可
				現今沢1遺跡(NE36-1200)	熊州市水沢沢西字現今沢内	発掘調査
				可能性あり5 A区、B区	熊州市水沢沢西字高瀬原、現今沢、新笹原、中林地内	工事着手可
				可能性あり5 C区、D区		発掘調査
可能性あり5 E区		発掘調査				
可能性あり6	熊州市水沢沢西字中林地内	未定				
21	令和4年11月16日 ～18日	経営体育成基盤整備事業 北下福北地区	昭南広域部西局 農政部農村整備課長	可能性あり1～3	熊州市水沢沢西字河地内	工事着手可
22	令和4年11月16日 ～11月22日	経営体育成基盤整備事業 北下福南地区	昭南広域部西局 農政部農村整備課長	高谷信濃跡(NE15-1313)及び可能性あり 五千刈遺跡(NE16-0097)	熊州市水沢沢西字河地内	慎重工事
				高山遺跡(NE16-0073)		慎重工事
				西大塚遺跡(NE16-0067)及び隣接地	熊州市水沢沢西字西大塚地内	発掘調査
				西原遺跡(NE16-0160) 築原(築基古部)	熊州市水沢沢西字河字西原地内及び ひつろ地内	
				松本原跡(NE16-1142)及び隣接地		
23	令和4年11月21日	内丸緑地排水整備工事	豊岡広域部西局土木部長	豊岡城外倉輪遺跡(LE36-)	豊岡市内丸地区	慎重工事
24	令和4年11月24日 ～12月1日	経営体育成基盤整備事業 西夕原地区	昭南広域部西局農政部 農村整備課長	油地遺跡(NE35-2002) 中谷地遺跡(NE35-2060) 可能性あり1	"野沢小山字西油地地内 及びひつろ中谷地地内"	工事着手可
25	令和4年11月28日 ～12月1日	経営体育成基盤整備事業 北下福南地区	昭南広域部西局農政部 農村整備課長	石田1・II遺跡(NE15-2306)	熊州市野沢南福田字石田	発掘調査
				西光田1遺跡(NE16-2023)	熊州市水沢沢西光田	慎重工事
				今須遺跡(NE16-3016)	熊州市水沢沢今須	慎重工事
				福野田遺跡(NE16-1101)	熊州市水沢沢福野田	慎重工事
				可能性あり1	熊州市水沢沢福野田	工事着手可
				水山遺跡隣接地	熊州市水沢沢水山	工事着手可
可能性あり2	熊州市水沢沢石田	工事着手可				
26	令和4年12月6日	熊州市警察署水川駐在所新築工事	狩手組警察本部会計課長	古瀬東遺跡(NE35-1091)	熊州市水川古戸町跡地2	慎重工事
27	令和4年12月8日	経営体育成基盤整備事業	昭南広域部西局農政部 北上農村整備センター所長	栢原遺跡(ME24-2188)	花巻市田内地	慎重工事
28	令和4年12月14日	本町の武助寺地地区砂防付替道路工事	昭南広域部西局土木部 沼泉土木センター所長	日藤遺跡のF下遺跡(3377-0185)	下閉伊郡若泉町大川字日藤の 下地内	慎重工事
29	令和4年12月15日	都市計画道路上野西法寺町 高寺地区街 路整備事業	昭北広域部西局土木部 二斗土木センター所長	野田II遺跡(JF20-0050)及び隣接地	二斗部一斗町高寺寺地内	慎重工事
30	令和4年12月15日 ～16日	東北縦貫自動車道茶臼山秋田 踏切跡SA 暫設地新設(仮)	東日本高速道路株式会社 東北支社北上管理事務所長	本内宮遺跡(ME80-0112)	和賀郡西和賀町	慎重工事
31	令和5年1月17日	渚太沢地区急傾斜地崩壊対策事業	昭南広域部西局土木部長	渚太沢遺跡(MG72-0074) 渚太沢大沢遺跡(MG72-0065)	原市渚太沢町	慎重工事
32	令和5年2月28日 令和5年3月1日	電線共同誘電線事業	昭南広域部西局土木部 一関土木センター所長	古淵遺跡(NE66-0187) 坂下遺跡(NE76-0000)	西和野郡平泉町平泉字衣岡及び 坂下地内	慎重工事

市町村支援

No.	調査期日	事業名	依頼者	遺跡名	所在地	結果
33	令和4年9月12日 ～9月22日 令和4年11月21日 ～11月23日	北上北部農業推進団地造成事業	北上市教育委員会	岡田遺跡(ME45-1300)	北上市村崎第12地内	発掘調査
34	令和5年3月9日	個人住宅及び倉庫新築工事	田野畑村教育委員会	西和野互遺跡(3G23-2011)及び隣接地	下閉伊郡田野畑村和野地内	慎重工事

1 一般国道4号水沢東バイパス（奥州市） なかばやしした 中林下遺跡(NE36-0247)（発掘調査）

J R 陸中折居駅の北方約1.4kmに位置し、胆沢扇状地の低位段丘である水沢段丘上位面に立地している。標高は現況で38～40mを測る。当遺跡は令和2～3年度に県営ほ場整備事業関連で（公財）県埋蔵文化財センターが発掘調査を実施しており、平安時代の掘立柱建物跡、竪穴建物跡や、戦国時代の掘立柱建物跡、溝跡等、多くの遺構が検出されている。特に、平安前期の建物跡群は鎮守府胆沢城に関連する官衙的な施設の可能性があります。

住宅のコンクリート基礎が残っていたため、基礎に沿う形で3本の試掘トレンチを設定し、T2・3で柱穴6基と溝跡1条を検出した。T2の柱穴は、盛土下の青灰色シルト層上面で3基検出されている。柱穴は径25～45cmで、トレンチ内で並ぶ様子はないことからトレンチ外に展開していることが想定される。T3でも厚い盛土層下の黄灰色シルト面で柱穴3基と溝跡1条を検出した。トレンチのうち1基は半分がトレンチ外であるが、径1m以上と推測される。また、溝跡は長さ約3m、幅約4.5mで、南北方向へ直線的に伸びている。

調査の結果から、今回調査範囲に埋蔵文化財センター調査区と同規模の平安前期の掘立柱建物や戦国期の武士の居館跡が展開している可能性が考えられる。〔遺跡範囲を修正〕

3 三陸沿岸道路（侍浜～階上）

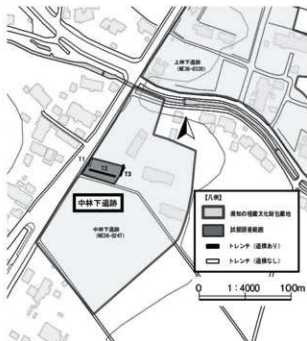
洋野種市IC（洋野町）

サンニヤIV遺跡(IF48-2187)（発掘調査）

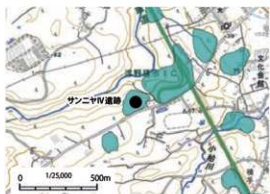
J R 八戸線種市駅から西方に約1.3km、川尻川右岸の標高60～80m前後に立地する。付近は高位の海成段丘である白前段丘面にあたり、三陸沿岸道路はこの段丘上に建設されている。調査当時、調査地は周知の埋蔵文化財包蔵地ではなかったが、東側にサンニヤIII遺跡が近接しており、遺跡と同じ地形面に位置していることや、面積が広範囲に及ぶことから「サンニヤIII遺跡隣接地」として試掘調査を実施した。調査地の土層は、表土下に黒褐色シルト（10～50cm）、漸移層である褐色シルト（20～40cm）、地山の黄褐色シルト層（南部浮石層）となっている。トレンチを8か所に設定し、そのうち3か所で遺構を検出した。検出面は黄褐色シルト層上面であ



中林下遺跡位置図



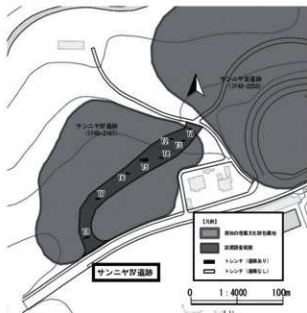
中林下遺跡調査位置図



サンニヤIV遺跡位置図

る。T5では、縄文時代の陥し穴と思われる溝状の遺構を検出した。また、T7では、直径約30cmの円形の土坑を検出した。断面を観察したところ、Ⅲ層から掘りこまれており、開口部に向かって徐々に広がる形状である。T8では、柱穴状の遺構を確認した。当事業に伴うサンニヤⅢ遺跡の発掘調査では、縄文時代の陥し穴や土坑が多数検出されている。今回調査地の全域にわたってサンニヤⅢ遺跡と同じ地形面が続くことから、同様の遺構が分布している可能性が高い。

以上の結果から、調査地は縄文時代の狩り場であり、周辺にも同種の陥し穴が分布しているものと推測される。〔新規遺跡として登録〕



サンニヤⅣ遺跡調査位置図

6 地域連携道路整備事業主要地方道

一関北上線山下地区（奥州市）

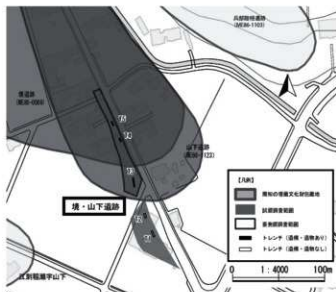
境遺跡(ME86-0069)・山下遺跡(ME86-1123) (発掘調査)

JR東北本線六原駅の東北東約23kmに位置し、北上川左岸に広がる沖積地の微高地（自然堤防）上にあたる。標高は約43mである。境遺跡の範囲は北に隣接する北上市側を主体としているが、遺跡範囲は南の奥州市側に延びており、山下遺跡と重複している。従って両遺跡は同一と捉えられるが、現状では異なる遺跡として登録されている（便宜的に境・山下遺跡と称する）。

トレンチは遺跡内に3か所（T3～5）、遺跡隣接地に2か所設定した（T1・2）。T1～3では最大1mの盛土がなされており、直下が黄褐色シルトの地山であった。北側のT4・5では表土層の下に30cm程度の暗褐色シルト層、次いで黄褐色シルトとなっている。遺構の検出は黄褐色土上で行った。調査の結果、T3で溝跡と柱穴を検出し、須恵器が出土した。また、T4では柱穴、T5で堅穴建物跡をそれぞれ検出した。境・山下遺跡の範囲内に古代の遺構・遺物が遺存していると考えられる。



境・山下遺跡位置図



境・山下遺跡調査位置図

7 農地整備事業（経営体育成型）

星山・犬吠森地区（紫波町）

あいの心

間野村遺跡(LE67-2201)及び隣接地(発掘調査)

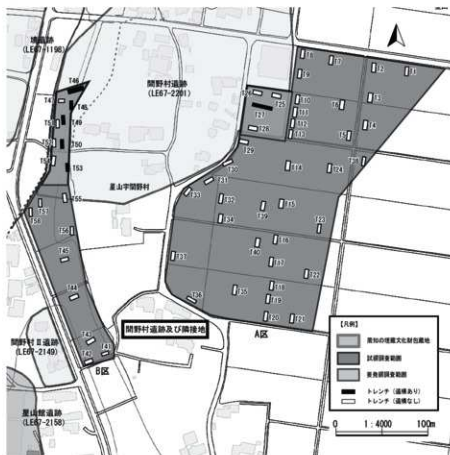
JR紫波中央駅から東南東に約2.2km、北上川左岸の自然堤防（標高約90～110m）に所在し、現況は水田、休耕地である。調査地は間野村遺跡の東西両側に隣接する同一地形面であり、分布調査で土師器が採集されたことから、試掘調査を行ったものである。

調査地は東西2区に分かれており、計58箇所のトレンチを設定して調査を行った。調査地東側は遺跡が載る地形面より一段下がった水田である。トレンチ40箇所を設定した（T1～40）。水田耕作土の下に暗褐色及び黒褐色の粘土質シルト層が見られ、次いで遺構検出面である粘土質シルト層となっている。T27では、地表面から約20cm下で柱穴2基及び溝跡1条を確認した。調査地西側にはトレンチ18箇所を設定しており（T41～58）、北端部分が（公財）県埋蔵文化財センターの調査区と接している。T46・48・49・50・53の5箇所で堅穴建物跡5棟、柱穴7基が確認された。出土遺物から平安時代と推定される。その他のトレンチは湿地的な様相を示しており、遺構・遺物ともに検出されなかった。

調査の結果、間野村遺跡に隣接する部分で遺構・遺物が確認されており、遺跡の範囲が当該部分まで広がるものと考えられる。〔遺跡範囲を修正〕

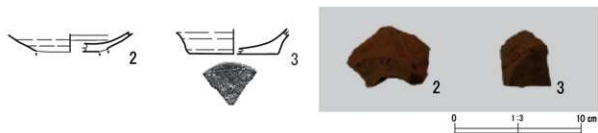


間野村遺跡及び隣接地位置図



間野村遺跡及び隣接地調査位置図

間野村遺跡
及び隣接地出土遺物(1)



間野村遺跡及び隣接地調査出土遺物(2)

間野村遺跡及び隣接地出土遺物観察表

掲載番号	出土地点	層位	時代	種別	器種	部位	計測値 (cm)				特徴
							口径	器高	底径	穴の径	
1	T27 柱穴1付近		近世		トチン	ほぼ完形	(59)	22	6.2	1.5	台部回転糸切り
2	T49 住居跡	埋土		土師器	台付埴	底部付近	-	(15)	-	-	
3	T49 住居跡	埋土		土師器		底部	-	(16)	(7.0)	-	

18 経営体育成基盤整備事業若柳中部地区(奥州市)
さくやしき
作屋敷遺跡(NE25-0144)及び隣接地(発掘調査)

今回の調査地は、作屋敷遺跡の西端部分と遺跡西側の隣接地である。JR水沢駅の西方約6.5kmに位置し、遺跡が所在する地形面は、胆沢扇状地の低位段丘である水沢段丘高位面に分類されている。

調査地は遺跡範囲の西縁部分とその隣接地で、現況は水田及び畑地である。試掘トレンチを86箇所を設定した(T1~86)。北端のT1で径20~30cmの柱穴8基が検出された。柱穴は南北に並んでおり、埋土に底部回転糸切り痕のある土師器片が含まれていた。遺跡の範囲内であるT36では、溝1条が検出された。溝は幅50cm、北西-南東方向に延びている。その他のトレンチでは遺構・遺物ともに検出されなかった。

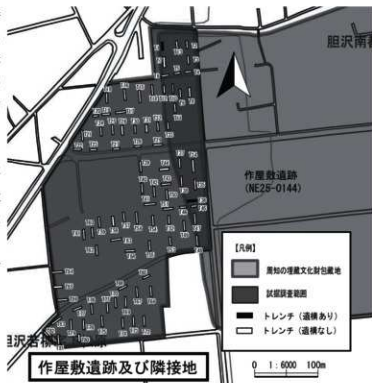
調査地は西に向かって標高が高くなっており、開田時に旧地形面が削平されたと想定されることから、作屋敷遺跡の範囲が大きく西に広がることはないと考えられる。

調査の結果、北端のT1の周辺部分に遺構が存在している可能性が高いと考えられる。

[遺跡範囲を修正]



作屋敷遺跡及び隣接地位置図



作屋敷遺跡及び隣接地調査位置図

20 経営体育成基盤整備事業真城西地区（奥州市）

みなみさきもり

南笹森遺跡（NE25-0144）隣接地（発掘調査）

つづみがさわ

堤ヶ沢Ⅰ遺跡（NE36-1200）（発掘調査）

可能性あり5（発掘調査）

真城西地区のは場整備事業予定地について、地区内に所在する周知の遺跡とその隣接地、遺跡推定地（「可能性あり」）について試掘を行った。付近は胆沢扇状地の扇端部にあたる中位段丘面であり、現況は水田及び畑地である。

南笹森遺跡隣接地

奥州スマートインターチェンジから東に約0.9kmに位置し、南笹森遺跡の北東側に隣接している。現地標高は72m前後で、現況は水田、畑地、休耕地である。トレンチ11箇所を設定し、遺構の検出を行った。調査地北側（T1～6）では、大部分で耕作土直下が黄褐色シルトの地山層となっていた。水田面は南笹森遺跡が載る面より1m程度低く、過去の造成によって切土されているが、T3で柱穴1基と近世陶磁器片1点を確認している。削平されているものの、この付近に遺構が残存している可能性がある。調査地の南側（T7～11）は、遺跡に隣接するT7・10では北側と同様に切土造成されており、T9・11では盛土層下に自然堆積の黒褐色土層が見られたものの、遺構・遺物は確認できなかった。調査結果から、削平されているがT3・6の周辺部分に遺構が存在する可能性ありと判断された。〔南笹森遺跡の範囲を拡大〕

堤ヶ沢Ⅰ遺跡

J R陸中折居駅の北西約1.1km、中位段丘上の標高68～73mに立地する。付近は胆沢扇状地堀切段丘の末端にあたる。現況は田面である。堤ヶ沢Ⅰ遺跡は「水沢市史」（昭和49）の遺跡地名表に平安時代の集落跡として掲載されている。事業範囲が遺跡の北側に位置することから、トレンチを17箇所を設定して遺構の検出を行った。

調査の結果、複数のトレンチで遺物・遺構が確認された。T1で溝状の土坑1基、T2では溝跡1条を検出した。T4～8でも、耕作土の直下が黄褐色シルト層であったが、複数のトレンチで柱穴や土器（土師器）細片が確認された。T10、T11、T14、T15では、表土・造成土層の下に旧耕作土と思われる暗褐色シルトや黒褐色シルトが見られた。事業地北側の市道付近が沢筋で、その周辺は低湿地だったものと推測される。T16では、陥し穴と思われる楕円形平面の土坑を検出した。遺物は土師器土器で、T4より南側において多く出土しており、南側に居住域がある可能性が考えられる。

可能性あり5

J R陸中折居駅の北西約1.2km、中位段丘上の標高70m前後に立地し、現況は水田、畑地、休耕地である。事業地の東側に中林Ⅱ遺跡と中林Ⅲ遺跡が存在するとともに、南辺が堤ヶ沢Ⅱ遺跡と近接しており、それらの遺跡と同一地形面であることから試掘調査を行った。なお、便宜的に、調査区を5つの調査区に分けて、合計75箇所のトレンチを設定した。全般的に削平を被っており、表土・造成土層の直下が黄褐色ロームの地山面となっている場合が多かった。

A・B区は過去のは場整備により削平・造成されており、埋蔵文化財は確認されなかった。C区は堤ヶ沢Ⅱ遺跡に隣接している。CT1で詳細不明の遺構プランを検出し、CT5では堅穴建物跡を検出した。出土遺物から平安時代と推測される。中林Ⅲ遺跡に隣接するD区では、DT1～3で南北方向に走る溝跡



南笹森遺跡ほか位置図

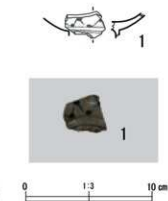
を検出した。埋土から土師器片が出土している。また、DT6、7、9、10で埋土に土師器片を含む柱穴を確認しており、平安時代のもものと推測される。C区及びD区には、平安時代の集落跡が広がっている可能性が高い。E区は事業地東端に位置しており、中林B遺跡及び中林Ⅲ遺跡の範囲を一部含んでいる。トレンチを18箇所を設定した。旧表土が削平されていたものの、複数のトレンチで遺物・遺構が確認されている。ET1では、縄文時代の陥し穴1基、ET7で溝跡1条及び柱穴状土坑を1基、ET10では溝跡1条、ET11では溝跡2条、ET12・18では楕円形の土坑各1基をそれぞれ確認した。ET17では、堅穴遺物跡1基及び溝跡1条を検出した。検出面で土師器片が出土したことから、古代の遺構と推察される。

以上のことから、「可能性あり5」は全体的に過去のは場整備等により削平を受けているものの、C～E区では縄文時代及び古代の遺構・遺物が残存していることが確認された。

[堤ヶ沢Ⅰ遺跡、中林Ⅲ遺跡、中林B遺跡の範囲をそれぞれ拡大]



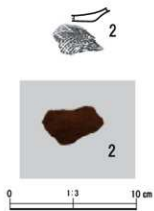
南笹森遺跡隣接地調査位置図



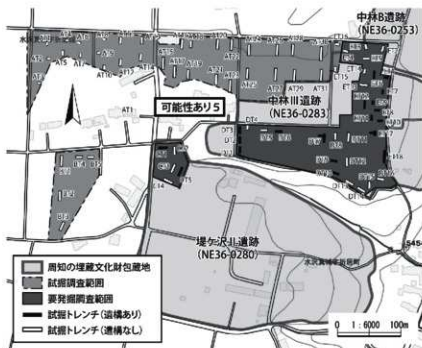
南笹森遺跡隣接地出土遺物



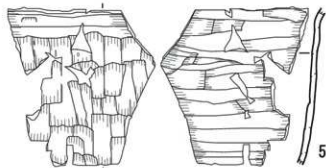
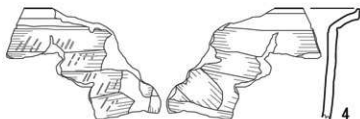
堤ヶ沢Ⅰ遺跡調査区調査位置図



堤ヶ沢Ⅰ遺跡出土遺物



可能性あり5調査区調査位置図



可能性あり5出土遺物



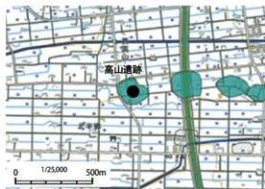
南笹森遺跡隣接地・堤ヶ沢I遺跡・可能性あり5出土遺物観察表

掲載番号	遺跡名	出土地点	層位	時代	種別	器種	部位	計測値 (cm)			特徴
								口径	器高	底径	
1	南笹森隣接地	T3 柱穴付近	1層	18~19C	磁器	瓦	体部下~底部付近	-	(1.6)	-	
2	堤ヶ沢I	T1	1層		土師器	瓦	底部	-	(0.8)	-	
3	可能性あり5	T6	造成土		土師器	瓦	底部	-	(1.2)	(6.0)	回転糸切、無調整
4	可能性あり5	T1 溝	3層		土師器	葉?	胴部~体部	-	(12.0)	-	ナデ
5	可能性あり5	T1 竪穴状遺構	3層		土師器	瓦	胴部~体部	-	(8.8)	-	ハケメ、ナデ

22 経営体育成基盤整備事業北下幅中地区（奥州市）

- 高山遺跡 (NE16-0073) (発掘調査)
西大畑遺跡 (NE16-0067) 及び隣接地 (発掘調査)
西館遺跡 (NE16-0160) (発掘調査)
築館遺跡 (塩釜古館)・松本館跡 (NE16-1142)
及び隣接地 (慎重工事)

北下幅中地区のは場整備事業予定地区内に所在する周知の遺跡およびその隣接地について試掘を行った。当地区は胆沢扇状地の水沢段丘南端に位置し、現況は宅地、水田及び畑地である。



高山遺跡ほか位置図

高山遺跡

J R東北本線水沢駅から北西約3.4kmに位置する。東側約400mには西大畑遺跡が所在する。遺跡は水沢段丘の高位面南端に立地し、南側の段丘崖は2m程度の段差をもって沖積地へと舌状に張り出している。遺跡の東側に高山稲荷神社が鎮座している。当遺跡は古墳時代の遺跡として周知されており、これまで2回の発掘調査されており、遺跡西側を縦貫する市道敷設に伴う発掘調査では該期の堅穴建物跡が調査されている。

トレンチを32ヶ所に設置した。調査地は全般に削平されており、特に北側と西端で著しい。T3・4では土器（土師器か）を伴う堅穴建物跡、T7・32で柱穴群を検出し、古墳時代の集落跡が付近まで展開していたことが確認された。また、T5で溝跡、T15～17では幅7～8m前後の大溝跡を検出したが、大溝跡は隣接する「高山掃部長者屋敷跡」の伝承のある墓地の方向へ弧状に延びていると想定される。また、稲荷神社北側のT22でも大溝跡を検出した。この溝跡の延長部分は確認できなかったが、稲荷神社の周辺へと延びていると推測される。これらの大溝跡は、墓地及び稲荷神社の周辺をそれぞれ圍繞している可能性があり、その規模や形態から古墳に関連する可能性も示唆される。

西大畑遺跡及び隣接地

J R東北本線水沢駅から北西に約3kmに位置する。胆沢扇状地の水沢段丘高位面に立地し、低位面を見通せる段丘縁にあたる。標高は約60～62mである。東北縦貫自動車道の建設に伴って発掘調査が行われており、古墳時代から奈良時代初めの堅穴建物跡、掘立柱建物跡等が調査されている（岩手県教育委員会1981）。

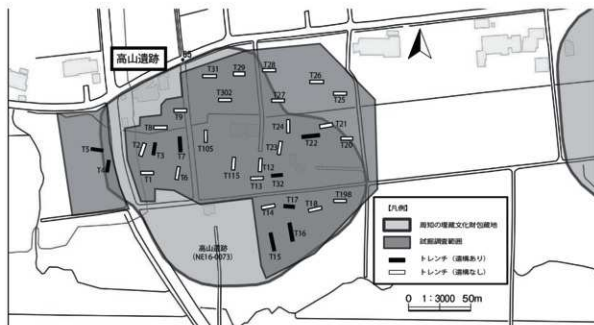
トレンチは遺跡内及びその周辺に20本設定した。遺構の検出は浅黄褐色土層（地山）面で行った。調査の結果、T1で焼土、T2・13で堅穴建物跡、T14で土坑2基と溝跡、T16・18・19で柱穴群を検出した。T20のⅢ層上層でも遺物が出土しており、過去の調査同様一段低い地形面には遺物が含まれているようである。段丘縁を中心に古墳～古代の生活痕跡が残されていることが想定される。

西館遺跡・築館遺跡（塩釜古館）・松本館跡及び隣接地

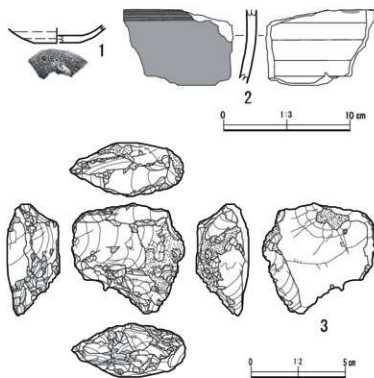
J R東北本線水沢駅から北西に約2.8kmに位置する。胆沢扇状地の水沢段丘の高位面に立地し、低位面を見通せる高位面の端にあたる。標高は約57～61mである。両遺跡は別々のものではあるが、範囲が接しているため便宜的に一体として調査した。

トレンチは遺跡内及びその周辺に17本設定した。遺構の検出はⅣ層とした黄褐色土で行った。築館跡（塩釜古館）・松本館跡の北側の堀跡は、現在も目視で確認できるほど残存状態が良いためトレンチは設定していない。現状保存が望まれる。

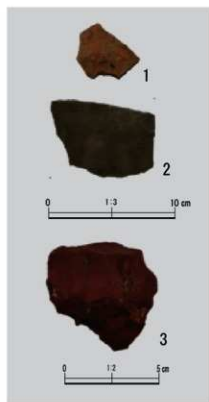
調査の結果、両遺跡の3カ所のトレンチで黒褐色の落込みを確認した。出土遺物から帰属年代は古代



高山遺跡調査位置図

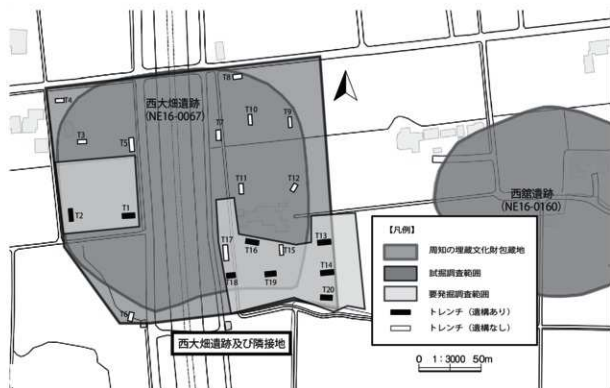


高山遺跡出土遺物

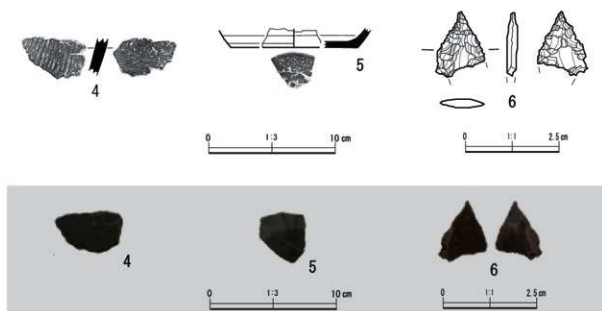


高山遺跡出土遺物観察表

掲載 番号	出土地点	層位	時代	種別	器種	部位	計測値 (cm, g)				特徴
							口径 幅	器高 積	底径 積	厚さ 重量	
1	T15	黒色土層		土師器	埴	底部	—	(1.2)	(3.6)	—	ロクロナデ、回転糸切
2	T17	黒色土層	14C頃	陶器	瓶	体部	—	(6.1)	—	—	古瀬戸
3	T3			石器	石核		5.8	6.0	2.3	99.12	



西大畑遺跡及び隣接地遺跡調査位置図

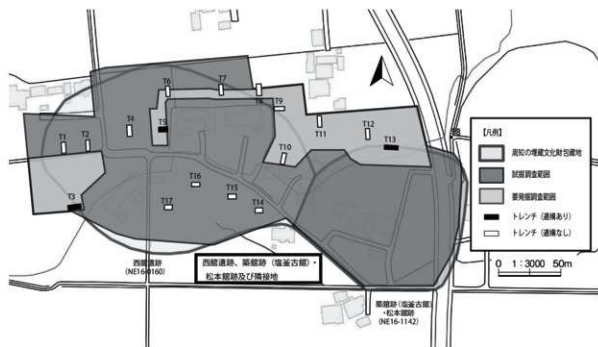


西大畑遺跡及び隣接地出土遺物

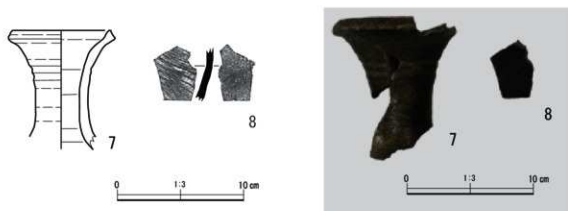
西大畑遺跡及び隣接地出土遺物観察表

掲載番号	出土地点	層位	時代	種別	器種	部位	計測値 (cm, g)				特徴
							口径	器高	底径	重量	
4	T20	黒色土層		須恵器	葉?	体部	-	(2.9)	-		タタキ
5	T20	黒色土層		須恵器		底部	-	(1.5)	(100)		ロクロナデ、底部へ少切?
6	T1	PP内		石器	石鏃		(1.7)	(1.3)	0.2	0.45	

以降と考えられる。遺構遺物を確認したトレンチ周辺は埋蔵文化財が残存しているようである。T14～17は低地帯の様相であった。



西館遺跡・築館跡（塩釜古館）・松本館跡及び隣接地調査位置図



築館跡（塩釜古館）出土遺物

築館跡（塩釜古館）出土遺物観察表

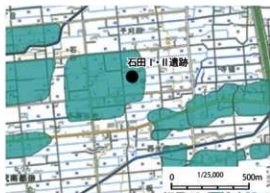
掲載番号	出土地点	層位	時代	種別	器種	部位	計測値 (cm)			特徴
							口径	器高	底径	
7	T13	II層		陶器	長頸瓶?	口縁～頸部	(8.6)	(8.4)	-	
8	T13	II層		須恵器	甕?	体部	-	(4.1)	-	

25 経営体育成基盤整備事業北下幅南地区（奥州市）

石田 I・II 遺跡 (NE15-2308) (発掘調査)

奥州市役所から西に2.9kmに位置する。遺跡の中心は水沢段丘の高位面に立地するが、東側はなだらかに傾斜し低位面に接続する。圃場整備や宅地造成などで開発されている区域が多く、今回の調査区も以前に圃場整備され、地形が改変されている。

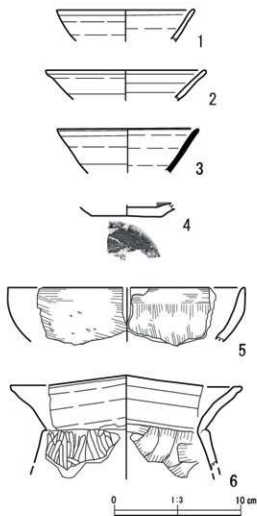
調査区全体で45ヶ所のトレンチを設定して調査した。北側調査区（T1～13）では、表土直下の黒褐色土層から土師器が出土し、竪穴建物跡、溝跡、土坑、柱穴状土坑が検出された。南側調査区（T14～45）では、過去の圃場整備にともなう削平により古代の遺物を包含する黒褐色土層は確認できなかったが、西寄りのトレンチで竪穴建物跡、土坑、柱穴等を検出した。竪穴建物跡は、カマドと煙道のみを検出したもの（T17）、プランは判然としないが遺物の出土状況から想定したもの（T26・35）等、削平による影響は大きい。遺存状況は悪いものの、この帯には相当数の遺構が存在すると推測される。一方、南側調査区の東寄りでは遺構・遺物は確認されなかった。以上から、遺跡範囲内において地形改変の影響が小さいと推測される南北に帯状に広がる丘陵地の東縁一帯を発掘調査範囲とした。



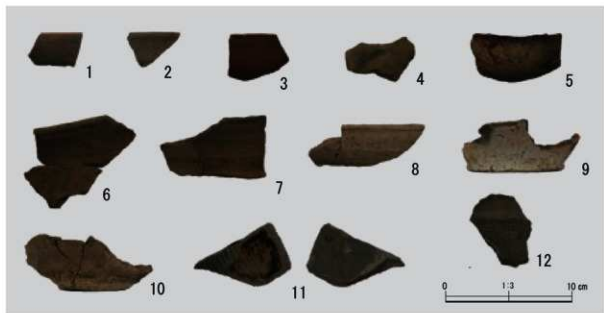
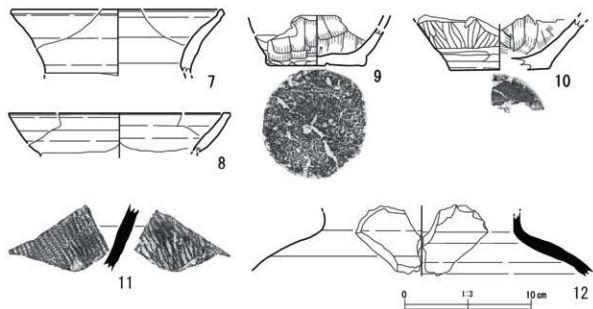
石田 I・II 遺跡位置図



石田 I・II 遺跡調査位置図



石田 I・II 遺跡出土遺物(1)



石田 I・II 遺跡出土遺物②

石田 I・II 遺跡出土遺物観察表

掲載 番号	出土地点	層位	時代	種別	器種	部位	計測値 (cm)			特徴
							口径	器高	底径	
1	T22	黒褐色土層		土師器	坯	口縁~体部	(11.0)	(2.5)	-	ロクロナデ
2	T17 住居跡	埋土		土師器	坯	口縁~体部	(12.8)	(2.3)	-	ロクロナデ
3	T27	黒褐色土層		須恵器	坯	口縁~体部	(11.2)	(3.5)	-	ロクロナデ
4	T20			土師器	坯	底部	(5.4)	(0.6)	-	内黒
5	T5			土師器	鉢?	口縁~体部	(18.8)	(4.3)	-	表:ケズリ、ナデ?
6	T39	黒褐色土層	7~8C	土師器	甕?	口縁~頸部下	(18.4)	(7.0)	-	口縁部:ヨコナデ、 体部:表はミガキ、裏:ナデ
7	T39	黒褐色土層		土師器	甕?	口縁~頸部	(17.0)	(5.2)	-	ヨコナデ
8	T39	黒褐色土層		土師器	坯	口縁~頸部	(17.6)	(3.4)	-	ヨコナデ
9	T39	黒褐色土層		土師器	甕	体部下~底部	-	(3.5)	7.6	表:ナデ、裏:ケズリ
10	T39	黒褐色土層		土師器	甕	体部下~底部	-	(4.0)	(8.0)	表:ケズリ→ミガキ、裏:ナデ
11	T20			須恵器	甕	体部	-	(4.7)	-	タタキ
12	T27	黒褐色土層	9~10C	須恵器	甕	頸部~肩部	-	(4.9)	-	ロクロナデ

33 北上北部産業業務田地造成事業（北上市）

岡田遺跡 (ME45-1390) (発掘調査)

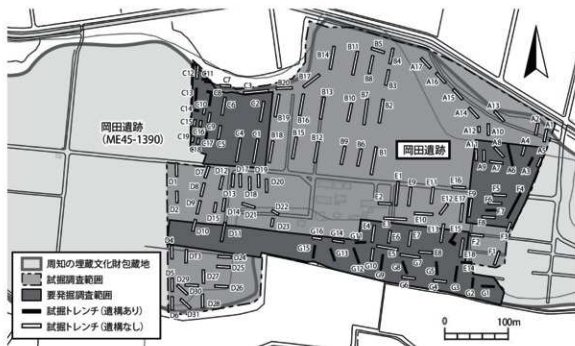
和賀川北岸の中段段丘面に立地している。遺跡は北限を区切る大堰川に沿って東北自動車道の西側にまで延びる自然堤防状の微高地に立地し、東西1.3km、南北0.4kmの広大な範囲に広がっている。当遺跡の試掘調査は令和3年度に引き続いて2カ年目で、3年度調査区の西側に隣接する約90,000㎡にトレンチ129箇所を設定し試掘した。調査区は草地、林及び工場跡地であり、前年の調査所見から頂部が削平により平坦化していると考えられる。調査範囲が広いことから7区に分割し、A～G区と呼称することとした。

A区には17ヶ所にトレンチを設定し、2ヶ所で陥し穴や土坑と推測される遺構が検出された（A T 3・5）。B区には20ヶ所にトレンチを設定したが、遺構・遺物は確認できなかった。全体的に開発され自然地形が残っていない区域となっている。C区には19ヶ所のトレンチを設定したが、土層の様相から見ると地形改変の影響が少ないようであり、トレンチ5ヶ所で土坑や陥し穴が検出された。D区は調査区の南西端にあたり、トレンチ30ヶ所を設定したが、遺構や遺物は確認されなかった。E区では、南東側に設置したトレンチ（E T 15）で土坑を検出した。F区ではトレンチ2ヶ所（F T 4・7）で溝跡と柱穴を検出した。G区では多くのトレンチで、古代の竪穴建物跡4棟、溝3条、土坑14基、柱穴状土坑7基、焼土1基、等のプランを検出した。

調査の結果、A区南側、C区全体、D区中央部、E区南側、F区北側、G区全面を発掘調査範囲とした。



岡田遺跡位置図



岡田遺跡調査位置図

II 工事立会

件数は12件で、10件については工事による遺跡への影響は認められなかった。遺構が確認された2件(No.1・12)は記録保存の措置を行った。

工事立会一覧表

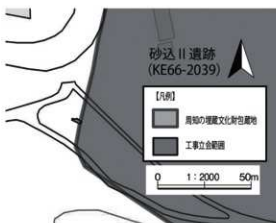
No.	調査期日	事業名	事業者	遺跡名(遺跡コード)	所在地	結果
1	令和4年6月20日 ～6月21日	一般国道282号一本木バイパス道路改良工事	福岡広域振興局土木部長	砂込Ⅱ遺跡(KE66-2039)	滝沢市一本木地区内	陥し穴状遺構1基
2	令和4年8月2日	交通安全事業	福岡広域振興局土木部長	不動馬場遺跡(LE56-0277)	矢中町白沢地区内 (一般国道不動矢中停車場線)	影響なし
3	令和4年11月2日	国有林治山事業	林野庁東北森林管理局 岩手県森林管理署長	安佐館跡(NE24-0054)	胆沢郡金ヶ崎町水栄寺水徳山国有林 1679 林小沢 13カ	影響なし
4	令和4年11月9日	農村地域防災減災事業東和南地区第13号工事	福岡広域振興局農政部 北土農村整備センター所長	中嶋遺跡(ME26-2198)	花巻市東和町安佐館内	影響なし
5	令和4年12月16日	かんがい排水事業 本管理システム胆沢平野地区	福岡広域振興局農政部 農村整備室長	中平入遺跡(NE15-0384)	奥州市水沢区倉河字十日市地区内	影響なし
6	令和4年12月20日	かんがい排水事業 本管理システム胆沢平野地区	福岡広域振興局農政部 農村整備室長	富田(A)遺跡(NE06-2100)	奥州市水沢区倉河字宿及び基田地区内	影響なし
7	令和4年12月1日	一般国道沿道堂二枚橋橋 滝田地区歩行空間設置工事	福岡広域振興局土木部 花巻土木センター所長	滝田康の神遺跡(MF07-0006)	花巻市石鳥谷町滝田地区内	影響なし
8	令和4年12月6日	道路標識設置工事・道路標識撤去工事 N029	岩手県警察本部長	衣間遺跡(NE76-0053)	西磐井郡平泉町平泉字柳新所10-4地区	影響なし
9	令和4年12月2日	県早治山事業(東館地区)	福岡広域振興局農政部 滝野森林振興センター所長	鍋倉城遺跡(ME45-2091)	滝野市滝野町第4地割43地区内	影響なし
10	令和4年12月19日	一般国道4号 紫波地区交差点改良事業	国土交通省東北地方整備局 岩手河内国道事務所長	戸部御所(西御所)遺跡 (LE67-1006)	紫波郡紫波町二日町地区内	影響なし
11	令和5年1月13日 令和5年2月10日	国営岩手山麓農業水利事業 南郡土野瀬用水跡橋脚改良工事	農林水産省東北農政局 岩手山麓農業水利事業所長	狭久保Ⅱ遺跡(KE76-1283)	滝沢市菓子屋久保地区内	影響なし
12	令和5年2月7日	地域づくり緊急改善事業	福岡広域振興局土木部 一関土木センター所長	花立Ⅰ遺跡(NE76-1013)	西磐井郡平泉町平泉字花立地区内	溝跡2条

1 一般国道282号一本木バイパス道路改良工事(滝沢市) すなこみ 砂込Ⅱ遺跡(KE66-2039)

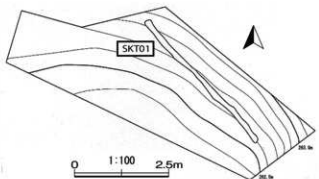
滝沢市役所から北北東に約10km、緩やかな起伏のある丘陵地の平坦部である。標高は260～265mで現況は原野である。今回の工事立会調査は、令和3年12月に当課で行った試掘調査において遺構が確認された箇所であり、調査範囲が狭小であることから実施したものである。



砂込Ⅱ遺跡位置図



砂込Ⅱ遺跡調査位置図



砂込Ⅱ遺跡遺構配置図

試掘調査時の遺構検出レベルを参照し重機で掘り下げて確認を行った。結果、この遺構は長軸4.35m、短軸0.1m、深さ0.6mを測る陥し穴状遺構であることを確認した。短軸断面形がほぼ長方形を成すため遺構上部は削平されていると考えられる。また、遺構埋土は暗褐色土1層である。遺物が出土していないが、本遺跡が縄文時代後期～晩期の土器の散布地であることや遺構の形状から縄文時代である可能性が高い。

12 地域づくり緊急改善事業（平泉町）

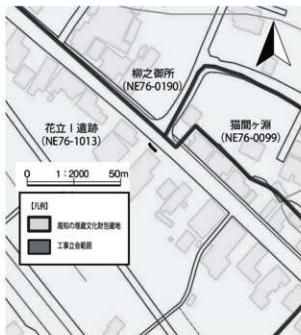
はなだて 花立 I 遺跡 (NE76-1013)

一般県道平泉停車場中尊寺線（通称「中尊寺通」）沿線の整備工事に伴い、立会を実施した。工事内容は既設の石積を現道と平行となるよう積み直しを行うもので、工事に際して撤去する石積背後の土の状況の確認を行った。

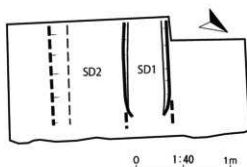
1～3層は表土及び近現代の遺物を含んだ盛土層で、4・5層は近世以降の旧表土層と考えられる。その下の粘質土（9層）面で溝状の掘り込みが2条認められた。2条の溝は重複しており、並行する可能性がある。新期の溝跡をSD1、古期の溝跡をSD2とした。埋土の状況からSD2は地山起源の土で埋められたと考えられる。SD1は上端20～25cm、下端18cm前後、深さ10cm前後で、南西～北東方向に直線的に延びる溝跡の可能性がある。底面はフラットであるものの歩道側で次第に浅くなることから、その延長は現道建設時に削平されたことが考えられる。SD2は土層断面で確認しただけであり、平面で遺構のプランを捉えることができなかったが、概ねSD1と並行する溝跡であると推測される。確認できる範囲から上端で120cm以上、下端で100cm以上、断面形が逆台形を呈する幅広の溝跡と推測される。遺物が出土しなかったため遺構の年代は不明であるが、近世よりも古い遺構であり、12世紀に属する可能性がある。花立廃寺跡・金鶏山と高館を結ぶライン上に位置する南東～北東方向の溝跡であることから、道路状遺構の側溝だった可能性も考えられる。



花立 I 遺跡位置図



花立 I 遺跡調査位置図



花立 I 遺跡遺構配置図

Ⅲ 分布調査

分布調査一覧表(1)

No.	調査日	事業名	事業者	道路名	道路コード	時代	種別	建設時期	所在地	結果
1	令和4年4月12日 ～4月13日	農業農村整備事業事業 取組地区調査計画	盛岡広域振興局農政部 農村整備室	—	—	—	—	—	八幡平市赤坂田	道路隣接地 3ヶ所 可能性あり 2ヶ所
2	令和4年4月15日	道路環境改善事業 (A041.1区) [防災文] 道路環境改善事業 (A316.1区) [防災文]	沼津広域振興局土木部長	なし	—	—	—	—	大畑町大畑字野地区	工事着手可
				戸沢遺跡	LF99-0262	縄文	散布地	未知	大畑町金沢第3地割地区	慎重工事
3	令和4年4月18日	照沢第二発電所内閉 塞事業	企業局業務課	—	—	—	—	—	奥州市照沢若柳字門+城	試探調査
4	令和4年4月26 日 令和4年5月12日	一般国道106号宮古 高岡橋道路(田鎖 新日道路)	国土交通省東北地方整 備局二陸国道路事務所長	老木館跡	LG32-2248	中世	城館跡	未知	宮古市田鎖 地内	立木伐採後 対応協議
				老木館跡隣接地1	—	—	—	試探調査		
				可能性あり1	—	—	—	試探調査		
				可能性あり2	—	—	—	試探調査		
				老木館跡隣接地2	—	—	—	試探調査		
				田鎖館跡	LG32-2333	中世	城館跡	未知		立木伐採後 協議
田鎖館跡隣接地	—	—	—	—	試探調査					
可能性あり3	—	—	—	—	宮古市牛伏地内	試探調査				
5	令和4年4月28 日	草刈産物処理整備事 業(畜産用)手総合 整備型)	公益財団法人若手類農 業公社	—	—	—	—	奥州市江刺字岩原草 刈産物処理地内	工事着手可	
6	令和4年5月10日	緊急予防治山事業	盛岡広域振興局林務部 長	葛巻館	JF82-1339	—	—	葛巻町大明野地内	工事着手可	
7	令和4年5月13日	(仮称) 国道343号 沿民バイパス「道の 駅」整備事業	盛岡広域振興局土木部 長	—	—	—	—	一関市大東町赤民字西 風野地内	工事着手可	
8	令和4年5月17日	秋田自動車道付加車 線事業	東日本高速道路株式会 社東北支社機手1工事 事務所長	越中畑V遺跡	MD57-2392	縄文	散布地	新規	試探調査	
				越中畑V遺跡隣接地	—	—	—	—	西和賀町越中畑地内	試探調査
				越中畑V遺跡隣接地	—	—	—	—	西和賀町上野+地内	工事着手可
9	令和4年5月18日	秋田自動車道付加車 線事業	東日本高速道路株式会 社東北支社機手1工事 事務所長	羽黒山麓1遺跡	ME63-0052	縄文・中世	散布地	未知	北上市和賀野山内地区	試探調査
				羽黒山麓1遺跡隣接 地	—	—	—	—	北上市和賀野山内地区	試探調査
10	令和4年5月20日	砂防事業	盛岡広域振興局土木部長	白山遺跡	LE04-2375	縄文・弥生・ 平安	散布地	—	滝沢市大釜白山地内	要試探調査
				白山遺跡隣接地	—	—	—	—	—	試探調査
11	令和4年5月24日	一般鉄道沿線大草編 大宇橋橋梁補修工事	盛岡広域振興局土木部 千賀土木センター所長	—	—	—	—	—	一関市東根町新字栗の 沢地内	工事着手可
12	令和4年5月24日	上川原の沢砂防砂防 堰堤工事	盛岡広域振興局土木部 千賀土木センター所長	可能性あり	—	—	—	—	一関市東根町新字田 本宿地内	試探調査
13	令和4年5月25日	源太沢地区色紙餅 焼製対策事業	沼津広域振興局土木部長	源太沢遺跡	MG72-0074	縄文(中期 後期)	包蔵地	未知	釜石市源太沢町地内	試探調査
				源太沢大沢遺跡	MG72-0095	縄文(中期)	散布地	未知	—	—
14	令和4年5月26日	間伐(生産創出事業) No.11	若手南部森林管理署滝 野支署長	山田塚の遺跡	MF47-4106	中・近世	街道跡	—	滝野市上園町橋内二ツ 岩国石林	慎重工事
15	令和4年5月31日	能登産物処理施設 整備事業促進費	環境生活部産物特別 対策室長	—	—	—	—	—	八幡平市平沼地内	工事着手可
16	令和4年5月15日 令和4年5月16日	農業農村整備事業計 画調査 秋風新里地区	盛岡広域振興局農政部 滝野農林振興センター所長	赤池前V遺跡	MF44-2032	古代	散布地	未知	滝野市秋風新里地内	試探調査
				宮野日1・II遺跡隣 接地	—	—	—	試探調査		
				赤風1遺跡隣接地	—	—	—	試探調査		
				赤池前前・IV遺跡隣 接地	—	—	—	試探調査		
				可能性あり(1)	—	—	—	試探調査		
可能性あり(2)	—	—	—	試探調査						
17	令和4年6月22日	地すべり防止事業 取組地区すべり防止 工事	弘北広域振興局二戸農 林振興センター林務室長	駒所野遺跡隣接地	—	—	—	一戸町根反字御所野地内	工事着手可	

分布調査一覧表(2)

No.	調査日	事業名	事業者	道路名	道路コード	時代	種別	道路状態	所在地	結果
18	令和4年7月22日	総合流域防災事業	県南広域振興局土木部長	三の岡道路 栗の下古墳隣接地	ME87-1300 -	-	「散布地 城跡路」	未知	貴州市江利稲瀬子岡内 地内	試観調査
19	令和4年8月22日	砂防事業	県南広域振興局土木部 岩石土木センター所長	可能性あり	-	-	-	-	八幡平市平笠第25地割 地内	試観調査
20	令和4年8月23日	一般国道古船停車場 中島地区道路環境 改善事業（交通安全 施設整備）	県南広域振興局土木部長	古船橋道路 古船橋道路隣接地	LE56-1307 -	古代	「散布 地 集落路」	-	紫波郡紫波町中島地内	試観調査
21	令和4年9月16日	川久保地区治水施設 整備事業	県北広域振興局二戸土 木センター所長	なし	-	-	-	-	二戸郡一戸町川久保地内	工事着手可
22	令和4年10月21日	飯田治山事業	県南広域振興局林務部長	なし	-	-	-	-	紫波郡紫波町小黒敷字 新在家地内	工事着手可
23	令和4年11月25日	森林管理道牛伏高徳 橋開設工事	沼津広域振興局宮古森林 振興センター林務室長	なし	-	-	-	-	宮古市茂市地内	工事着手可
24	令和4年12月8日	高川万幸地区子路治 山事業	県南広域振興局農政部 花巻森林振興センター 所長	なし	-	-	-	-	花巻市四万寺字高川万 幸地内	工事着手可
25	令和4年12月12日	浦常砂防事業	沼津広域振興局土木部 岩石土木センター所長	穴沢V道路	BF58-0002	縄文	散布地	-	下閉伊郡岩泉町穴沢字 上野地区	試観調査
26	令和4年12月13日	農地中間管理機構開 通農地整備事業 田 名部地区	沼津広域振興局農林部 宮古森林振興センター 所長	F田名部1遺跡地	LG73-2314	縄文	散布地	-	下閉伊郡山田町倉岡橋 地内	試観調査
27	令和4年12月21日	県北管内緊急河道保 固工事	県北広域振興局土木部長	登瀛登山路	JF35-1294	-	登山路	-	久慈市山形町野沢地内	試観調査
28	令和5年2月1日	①千塚沢地区災害開 通緊急砂防事業 ②小安原沢地区災害 開通緊急砂防事業	県南広域振興局土木部 岩石土木センター所長	可能性あり	-	-	-	-	岩石部高巻町高巻第53 地割 岩石部高巻町高巻第50 地割	試観調査 工事立会
29	令和5年2月13日	一般国道340号枝刈 地区道路広面封塞 （災害防除）事業	沼津広域振興局土木部 大船渡土木センター所長	なし	-	-	-	-	陸奥高田山田町宇筑 製地内	工事着手可
30	令和5年2月13日	水浜町産部付帯施設 道路整備事業	沼津広域振興局土木部 大船渡土木センター所長	なし	-	-	-	-	大船渡市赤崎町字水浜 地内	工事着手可
31	令和5年2月14日	浦常砂防事業	沼津広域振興局土木部 宮古土木センター所長	川手貝塚	MG06-0171	縄文、不明	「貝塚 集落路」	-	下閉伊郡山田町大浦地内	工事立会
32	令和5年2月14日	治水施設整備事業	沼津広域振興局土木部 宮古土木センター所長	なし	-	-	-	-	宮古市田老字徳内地内	試観調査

IV 遺跡登録

令和4年度に新たに周知の埋蔵文化財包蔵地として新たに登録された件数は11件である。また18件遺跡範囲の変更手続きを行った。

新規登録遺跡一覧表

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	種別	所在地	登録日
1	IF68-2061	西戸類家Ⅱ遺跡	縄文	散布地	九戸村洋野町種市第10地割字西戸類家122番1	令和4年4月19日
2	OE07-1199	清水尻経塚	中世	経塚	一関市滝沢字清水尻60-1、89-1、90	令和4年4月27日
3	IF48-2187	サンニヤⅣ遺跡	縄文	狩猟場跡	九戸郡洋野町種市第28地割179番地	令和4年7月4日
4	LE69-1012	船久保遺跡	縄文	散布地	紫波郡紫波町船久保字小屋敷	令和4年9月12日
5	LE65-0148	志和稲荷街道跡	近世	街道跡	紫波郡紫波町上松本字伏祭地内	令和4年9月12日
6	LE67-0345	草刈船遺跡	中世	城館跡	紫波郡紫波町草刈字善前野ほか	令和4年9月12日
7	NF81-0224	和之洞遺跡	近世、近代	生産遺跡	一関市千厩町奥玉字天ヶ森4	令和4年4月7日
8	NF71-1246	柳畑遺跡	-	生産遺跡	一関市大東町曾慶字柳畑	令和4年4月7日
9	ME85-1296	笹長根遺跡	古代	散布地	胆沢郡金ヶ崎町六原笹長根	令和4年11月25日
10	ME46-1130	広表遺跡	縄文	集落跡	北上市村崎野21地割、成田26地割地内	令和5年2月13日
11	NE36-1023	斉藤遺跡	縄文	散布地	奥州市胆沢小山字斉藤	令和5年2月20日

範囲変更遺跡一覧表

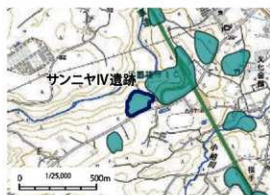
No.	遺跡コード	遺跡名	時代	種別	所在地	登録日
1	NF50-2234	本木遺跡	縄文	散布地	一関市大東町猿沢字本木35-1	令和4年4月27日
2	NF50-2254	地の神Ⅱ遺跡	縄文	散布地	一関市大東町猿沢字本木35-1	令和4年4月27日
3	OE05-0239	萩の馬場跡	平安	宿駅跡	一関市萩翔字地ノ神357、358-1、359-3、360	令和4年4月27日
4	IF67-2355	松ヶ沢Ⅰ遺跡	縄文	散布地	洋野町種市第73地割	令和4年6月23日
5	IF68-1368	西戸類家Ⅱ遺跡	縄文	狩猟場跡	洋野町種市第10地割	令和4年6月23日
6	IF68-1209	南玉川Ⅱ遺跡	縄文、近現代	狩猟場跡	洋野町種市第11地割	令和4年6月23日
7	IF48-2250	サンニヤⅢ遺跡	縄文	狩猟場跡	洋野町種市第25地割	令和4年7月4日
8	LE67-2034	田頭遺跡	古代	散布地	紫波郡紫波町桜町字中板地内	令和4年9月12日
9	JF82-1346	葛巻城跡	縄文、中世	城館跡	岩手郡葛巻町葛巻字田子第14地割ほか	令和4年8月31日
10	ME94-1054	和光6区遺跡	縄文	散布地	胆沢郡金ヶ崎町西根和光地内	令和4年11月25日
11	LE67-2201	間野村遺跡	古代	集落跡	紫波郡紫波町皇山字間野村地内ほか	令和4年11月24日
12	LE57-2036	中田Ⅱ遺跡	古代	集落跡	紫波郡紫波町高水寺字中田地内	令和4年12月20日
13	NE26-2189	南笹森遺跡	縄文、近世	散布地	奥州市胆沢小山字南笹森地内他	令和5年2月20日
14	NE25-0144	作屋敷遺跡	縄文、古代、中世	集落跡、祭祀跡	奥州市胆沢南都田字作屋敷地	令和5年2月20日
15	NE36-0283	中林Ⅱ遺跡	古代	散布地	奥州市水沢真城字中林地内	令和5年2月20日
16	NE36-0280	堤ヶ沢Ⅱ遺跡	古代	集落跡	奥州市水沢真城字堤ヶ沢地内	令和5年2月20日
17	NE54-2304	安信新城（安信館）遺跡	中世	城館跡	奥州市衣川字石神地内	令和5年2月20日
18	NE54-2312	石神経塚	-	経塚	奥州市衣川字石神地内	令和5年2月20日



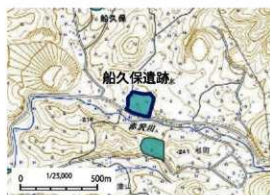
1. 西戸頼家XI遺跡



2. 清水尻経塚



3. サンニヤIV遺跡



4. 船久保遺跡



5. 紫波稲荷街道跡



6. 草刈館遺跡



7. 和之洞窟跡



8. 柝畑窟跡

新規登録遺跡位置図(1)



9. 世長根遺跡



10. 広表遺跡



11. 斉藤遺跡

新規登録遺跡位置図(2)

報告書抄録

ふりがな	いわてけんないいせきはくつちょうさほうこくしょ
書名	岩手県内遺跡発掘調査報告書
副書名	令和4年度
シリーズ名	岩手県文化財調査報告書
シリーズ番号	第169集
編集者名	岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課
編集機関	岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課
所在地	〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1 TEL 019-629-6180
発行年月日	令和6年3月27日

岩手県文化財調査報告書 第169集
岩手県内遺跡発掘調査報告書
(令和4年度)

発行日 令和6年3月27日
発行 岩手県教育委員会
〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1
編集 岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課
印刷 小松総合印刷(株)
〒020-0827 岩手県盛岡市鉦屋町15-4

